

「天でも地でも、あなたの御心が」

マタイの福音書 6章 9～15 節



イエスキリストを信じ「神の子」とされた私たちは、天地の創造者である神を「おとうさん」と呼んで祈ります。そしてそのように祈る時、私たちが神の家族である「私たち」とされていることを経験することができます。

「御国が来ますように」との祈りは「みこころが天で行われるように、地でも行われますように」との祈りとなり、「私たちの日毎の糧を、負い目を」との祈りへと繋がっていきます。主の祈りは、そのように、神にあって天と地が一つにされる祈りです。

① 天と地を治めておられる神

“御名が聖なるものとされますように。御国が来ますように。みこころが天で行われるように、地でも行われますように。” 9-10

“わたしは近くにいれば、神なのか。一主のことば— 遠くにいれば、神ではないのか。人が隠れ場に身を隠したら、わたしはその人を見ることのできないのか。一主のことば— 天にも地にも、わたしは満ちているではないか。一主のことば— ” エレミヤ 23:23-

② 天と地を一つにつなされた神

“私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。” 11-13

“ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。”

ヨハ 1:14

③ みこころを行わせてください

“神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。あなたがたが不品行を避け、各自わきまえて、自分のからだを、聖く、また尊く保ち、神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、また、このようなことで、兄弟を踏みつけたり、欺いたりしないことです。” 1テロ 4:3-

“神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。” ピロ 2:13

○話し合ってみましょう

・「あなたのお名前が」「あなたのご支配が」そして「あなたのご意思が」という祈りが三つ続きましたが、この三つのことはどのように繋がっていると思いますか。それは後半の祈りとどのように関係すると思いますか。